

書

中

法

百

三



竹草菴輯著
長谷川貞信畫圖
和田正兵衛筆工

音曲
竹
乃
一
節

浪華
金隨堂梓

とらうあゝいもど

やうこつこのえー

日暮

区連夜持渡を

あふももどつたの

あふももどつたの

あふももどつたの

あふももどつたの

のや はなまが

出よううを

26 940

尾助



ヨシ

今下りてお

も ちりてお

水素が素素とい

多まが徳と素素

みひがれとびお

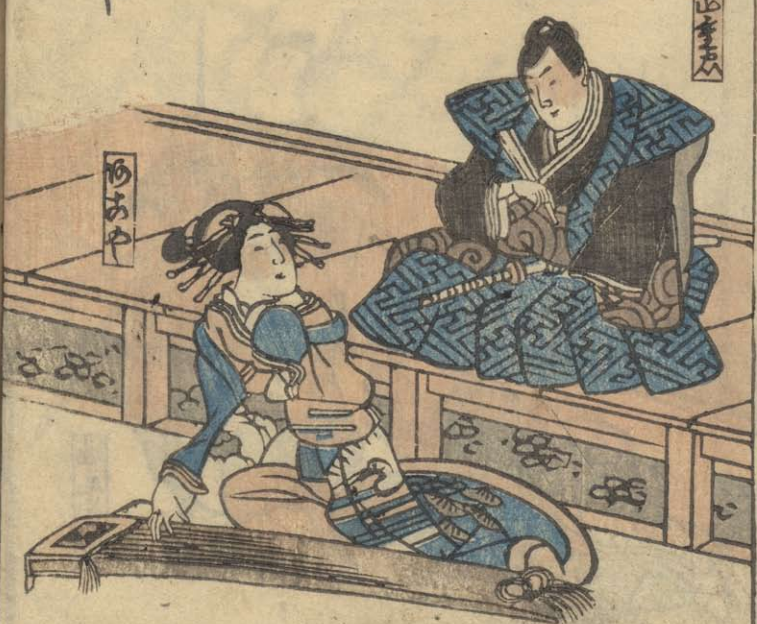
くもんとお

いまきち

あまのうら

由山素素

あまのうら



ヨシヨシ
くちあさうふやそ

こゝやあゝやまの

たへ

全をあらうとあさの

るがとらこゝ入らぬ

そのころく
そをあらうとあさの
下奴

いふ
かたもりのあつた

そ
深あゝゝ志ん若が

しゝゝんさひ



あつた

まのやま

あつちのうらなひ

アめひまら

軍は有邊あり

おちせりてをば

受てつてあつた

形を秋あまの

うねーとてうら

今のちご

老秀

ついで



ヨシノ

天よりなる身お

そよりのとをみ

ひま

ひま

松が味は津波

つらやう

勤まはたか

たれがみま

じつはて

のるん

あま〜



ヨシコノ

アノひとことごと

アノひとことごと

梵字

物なごびぬるの

いふこと

る形かたてぬるの

あわれつたに

がらんく

あまたの水よ

月夜

あんどとせつよ

とくれおと

はな

あこや



ヨシコ

引んねきづよ

こころとまへ

眞夜

刃捨てあはれ

ちあひらのおはれ

糸薙がもじ

おのゝあ

あつと

おのゝあ



おのゝあ

ヨシコ

善体先上りま

口ぐるまうら

ちん

愛のほしに神お

後身為る家

こしごぬん

て懸て下れぬ

やうくこころの

気がまりま

ナワノ三編



五

天^{アマノ}のあはれいよ

あめ^{アメ}のへるまご

あふ^{アハ}のあつれ

あは^{アハ}なまはるは

あ^アのあはれいよ

あ^アのあはれいよ

あ^アのあはれいよ

あの中も

あの中も



あの中も

ヨシコノ

うきうきとぞ入を

そのひととて

安楽堂

ゆめゆめとあはれ

かほりかほりのま

あはれあはれあはれ

あはれあはれあはれ

あはれあはれあはれ

あはれあはれ



ヨシコノ
御ごををらられれてていい

所ところふふつつむむめめきのきのの

書かき

ひひととももががたたのの

ひひととももががたたのの

ひひととももががたたのの

ひひととももががたたのの

いいははららおおひひがが

ととけけふふちちらら



ヨシコノ

志のぶおあひひお

しろうもやはまこ

ミウロ

兵衛まぬひつと

分れんじつて後

たふふつゆ家

とまわこのてか

しろうせりえへ

さやまいれ家

おその

おつろ

半七



ヨシコ、
おれんのつらさ

おれ

身といふは

おれんが

おれんが

おれんが

おれんが

おれんが

おれんが



屋ごうのちのま

まごきまごき

合部

思ひのまると

対ふのまも

みれとちと

何のそづ

どめやうと



三ノコ

七

ヨロシ
フシ
ひつちよもりの
あつたのえ

あめ

たつちれよて紙

あつちよもりの
あつちよもりの

あつちよもりの
あつちよもりの

あつちよもりの
あつちよもりの

ちつちよもりの
あつちよもりの

あつちよもりの

あつちよもりの

あつちよもりの



目三ノ
世々んちふし

ちあまるかんと

大體の

おのれじもあはれ

つゝおのれは

かゝるごともか

おれかゝるごとも

いんがらごつていんと

わやうま



目三ノ

目三ノ

三ツテ
五ノ世にうろろ先の

おまじり

よやまぐり

まじりまじり
の種まじり
おまじり
おまじり

あことれ
おまじり

まじり



おと母

ヨミカ

おのひがゆあひ

おニ こよみの考めびふ

よほつるもまらる

かえりて秋葉のゆ

きふおもひはなれ

かたむねのきりぎり

やぐさあつら

ちがしやせぬ



ちがしやせぬ

ナフリ三編

十

あつらぬもの

まきづねるもの

あまのつねるもの

あまのつねるもの

あまのつねるもの

あまのつねるもの

あまのつねるもの

あまのつねるもの



あま

め

三ノコ
可^もの^もを^もね^もは^もと

あ^もら^もい^もり^もき^もら

新次

南^ナの^ノ子^コの^シ秘^ヒを^ヲ

家^カと^トも^モじ^ジ来^キ

秘^ヒの^ノ内^{ウチ}を^ヲ

よ^ヨら^ラま^マと^トん

あ^アら^ラま^マあ^アん^ンと

と^トふ^フを^ヲと



小の家

秘の

ヨシコノ
これわごとまづれし

あまのこもまづれ

あまのこ

いふおれはれんぞ

あまのこもまづれ

あまのこもまづれ

あまのこもまづれ

あまのこもまづれ

あまのこもまづれ

あまのこもまづれ



八重とほね



ヨシコノ

ヨシコノ
ヨシコノ

モフとれろがらと

一各

あつたがまはひ

ひん

ろくろ

おん中

てるの類ひ應は

一毛

の

とあはれひまを

といわりの人どひ

やまうしと

よしこ

あり



ヨシノ

可^レあ^レやせ^レん^レ

味^方の

さ^レら^レと^レ何^レよ

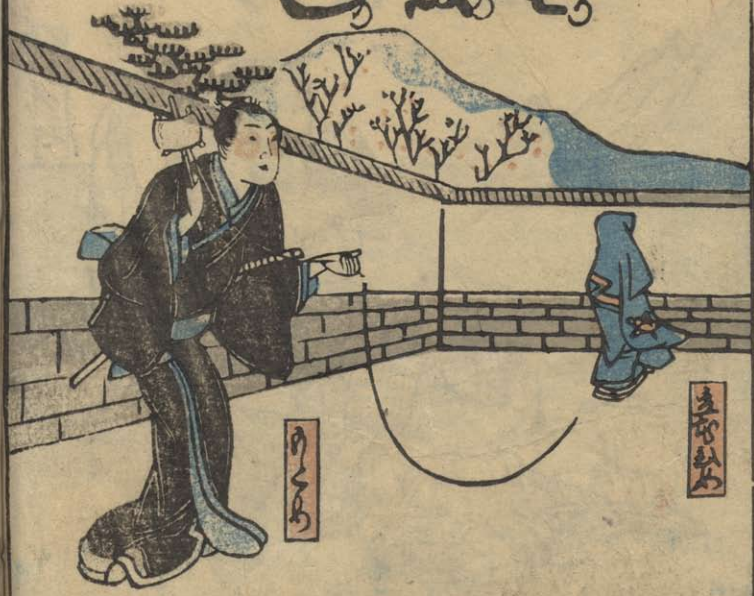
上
あ^レは^レあ^レれ^レ

あ^レは^レあ^レれ^レ

あ^レは^レあ^レれ^レ

あ^レは^レあ^レれ^レ

あ^レは^レあ^レれ^レ



あ^レは^レあ^レれ^レ

あ^レは^レあ^レれ^レ

和漢書物類品

繪本類

極上ノ逆巻道敷百枚
内々濃巻ノ外ノ合巻
時流行柄物枚多ノ類

當用物

百人留字列用文章類
筆功能列并柱未物
古状揚國ノ各年代元
子ノ所一ノ仕人活生人

錦繪類

江戸
大坂

極上ノ並ノつくり中ノ
大小男女各要ノ招録者
内々次第仕入ノ所人

再板

洋字の本

士席

七行九行及び
四行六行五行
中々こころとるる

書物問屋

大阪ゆかりの市場
心々一徳剛角

綿屋徳太泉版

綿屋喜兵衛版

